

3年生 探究活動

3年生はこれまでの研究の成果を発表するときです。1年生で研究の基礎を学び、2年生で本格的な実験を行いデータを集めます。3年生はそのまとめの時期になります。まず、7月にグループ課題研究成果発表会が行われます。さらに9月に論文集を作り集大成とします。

グループ課題研究成果発表

グループ課題研究 テーマ一覧 (15研究)

1 コアンダ効果の堤防利用	8 金属に働く制振材の効果
2 炎色反応の継続時間	9 話すことが苦手な子供向けのアプリ開発
3 植物の発芽率の向上について	10 蕪崎市の発展のために必要なこと
4 音楽が勉強に及ぼす影響	11 マグナス効果がより現れる形状
5 地震に負けない家を作れるか！?	12 振動発電を身近に
6 シャンプーの泡立ちと塩素の関係	13 仕切りを用いた液状化現象対策
7 SNSってどのくらい悪影響？	14 マグネットトレイン
	15 糖度が同じだと発酵力も同じなのか

3年生グループ課題研究成果発表会には毎年多くの方が参加してくれます。

来校者・発表者の意見、感想

・生徒達が主体的に課題発見と解決に取り組む姿が素敵でした。これからの人生、一生勉強の練習になっていると思います。これからも継続して行ってください。(来校者)

・研究の動機は些細なことでもそこから研究にまで発展できることがあるとわかり興味深かった。また、研究を口頭発表することははきはきとしゃべるだけでなく自分自身も自分の研究を理解した上で自信をもって発表することも重要だとわかった。(在校生)

・プレゼンをするときにどうどうをとするというそれだけのことが最も大事だということに改めて気づいた。また研究の中で、ひとつの研究で分かったことをまた研究するという連鎖的に行うのが重要。(在校生)

・不思議に思ったことを突き進めて行けば新たな発見に繋がることが知れた。また、相手に分かりやすく伝えるためには細かいことも省かずに言うことが大切だということもわかった。今回の発表で最後になってしまいが大学生になっても研究をしたいと感じた。(発表者)

